

長久手市行政評価票

事業番号	75	事業の名称	交通児童遊園管理運営事業	担当部署	部	課
					福祉部	子育て支援課

事業の概要	児童に健全な遊び場を与え、その健康を増進し、情操を豊かにするとともに、児童の交通安全の知識及び能力の開発に寄与することを目的とする。 施設内の遊具等による児童への健全な遊び場の提供と、交通トレーニングコースを使用した正しい交通安全の知識を学び自己防衛能力を備える。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載) 瀬戸市交通児童遊園 「児童館」「交通コース」「あそびの広場」を設置、自転車の練習や交通安全教室を実施 春日井市交通児童遊園 「児童館」「交通トレーニングコース」を設置、子どもの健全育成と交通ルールを学ぶための施設		
	事業期間	事業開始年度	昭和57年度	終了(予定)年度		—	
事業の対象 (だれ、何に対して)	乳幼児及びその保護者、小学生を中心とした児童				総事業費 (単位:千円)	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	児童の交通安全の知識の向上及び自転車の練習など能力の開発ができる環境をつくる。						うち
							一般財源 国費・県費 地方債 その他 受益者負担額

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							成果指標の目標値 設定の根拠	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24実績	H24実績	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明				
		4月~	7月~	10月~	1月~							H25実績	H25実績				H26実績			
① 交通児童遊園運営事業	乳幼児及びその保護者、小学生を中心とした児童	→				児童の交通安全の知識の向上及び自転車の練習など能力の開発ができる環境をつくる。	施設利用者数 15,627人	施設利用者数	15,665	人	これまでの推移から予想される数値	1,700	1,630	臨時職員賃金1,671	B	交通安全の啓発等、安心安全課と連携した事業を検討する必要がある。				
		安全な遊び場の提供、交通コースを使った交通安全の啓発を行うことで															15,627	1,700	1,671	維持
																	16,000	1,902		維持
② 交通児童遊園管理事業	交通児童遊園	→				施設を安全かつ快適に利用してもらう。	自転車点検年1回、遊具非破壊検査年2回、保守点検年10回等	施設維持管理上の重大な不具合件数	0	件	重大な不具合の発生がないことを目標。	1,381	2,065	除草・剪定等委託441、光熱水費179、消耗品費98、軒樋取替工事83、自転車修理代82	A	現行どおり実施していく。				
		日常点検、施設管理業務を実施することで															0	1,239	1,116	維持
																	0	1,951		維持
③																				
④																				

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	① 交通児童遊園運営事業	交通安全の啓発などに有効活用するため、安心安全課と連携し事業内容を検討していく必要がある。			